

平成28年1月20日

第72号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47  
TEL 0798(33)7713  
FAX 0798(33)7743

## 「阪神地区手をつなぐ育成会保護者研修会」開催



今村西宮市長ご祝辞

平成27年10月9日（金）西宮市民会館アミティホールにて、「平成27年度阪神地区手をつなぐ育成会保護者研修会」を開催しました。今村西宮市長をはじめ、49名のご来賓と阪神地区（7市1町）の会員497名、一般参加10名、講師・シンポジウム登壇者5名、合計561名の参加がありました。

今回は西宮市が当番市のため早くから準備に取り掛かり、当日も多くの会員の皆さまのご協力で盛大且つ有意義に無事終了することができました。

### 午前の部 講演

#### テーマ：「将来の生活設計について」～今、家族がしなければならないこと～

講師：綿 祐二氏 日本福祉大学福祉経営学部 学部長・教授  
社会福祉法人睦月会 理事長

綿氏は、家族が障がい者という環境で育ち、20歳すぎ（大学生）で、障がい者の家族会をベースに初めての施設を開設されました。現在、社会福祉法人睦月会の理事長として入所支援事業を始め障害福祉サービス事業、重症心身障害者通所施設、相談事業、障害児通所支援事業など次々と事業を展開され、現在20事業所で数ヵ月の乳児から80歳近い方まで約500人の方と生活をされています。



綿 祐二氏

平成26年10月に開設された「カスタマイズ型グループホーム」は、音が苦手な人には防音壁、発作のある人には夜間の室内カメラなど、一人ひとりの状態像に合わせてカスタマイズされた施設で、終の棲家であり看取りは当たり前だということです。

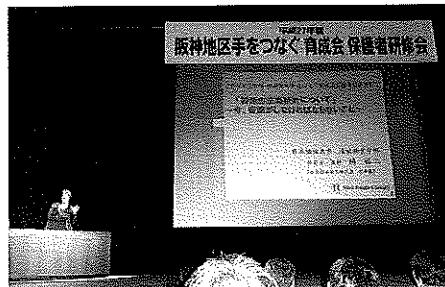
今、家族がしなければならることは、現在の本人、父母、きょうだいの年齢から10年先をイメージして、その時にどこで誰と住むのか、誰の支援を受けるのか、その時にかかる費用はなど考えることです。

グループホーム設立までのプロセスについては、土地探し、行政との交渉、経済的シミュレーション、支援のシミュレーションなど具体的に教えて頂きました。

支援の優先順位は、1. 生命の保持 2. 生活リズム 3. その子らしさです。

グループホーム開設に当たっての学習会のポイントは、家族の腹のくくり方、我が子だけではなくみんなの親になること、共依存からの脱皮、期限を切ること(腹をくくってから5年)、仲良しグループではなく目的達成グループであることです。

そして、障がいの程度は比べるものではない、障がい者が家族に居るだけでどの家族にとっても最重度、後ろを振り返っても落ち込むだけ、前を向くしかないとパワフルに講演されました。



綿氏講演

## 午後の部 シンポジウム

### テーマ：「計画相談の現状と課題」

#### シンポジスト

社福) 光耀会 相談支援事業所「ねくすと」管理者・相談支援専門員

宮城 明子氏

社福) 阪神社会福祉事業団「ななくさ清光園」副園長・相談支援専門員

姫田 民也氏

社福) 西宮市社会福祉協議会「障害者総合相談支援センターにしのみや」

係長・相談支援専門員

増田真樹子氏

#### コーディネーター

社福) 宝塚さざんか福祉社会参事 相談支援センター「だんぱ」所長

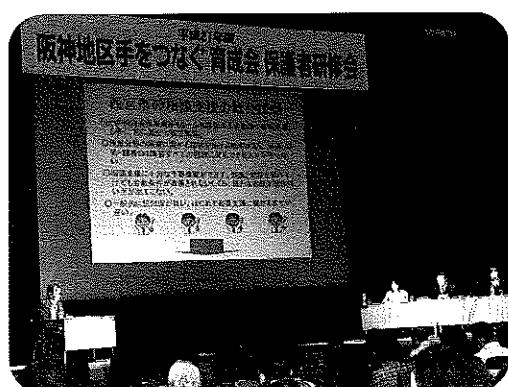
今西 則行氏

それぞれのお立場から、計画相談の現状についてお話し頂きました。

一人ひとりが希望に沿った支援を受けられるようにするために、質の高い相談支援が求められます。そのための様々な課題も見えてきました。

西宮市では、本人中心支援計画について、本人の希望がより反映できるようにアセスメントシートを西宮市独自のものにしているとのことです。

計画相談の進捗状況は各市様々で、三田市では100パーセント終了、西宮市は遅れているようです。



シンポジウム



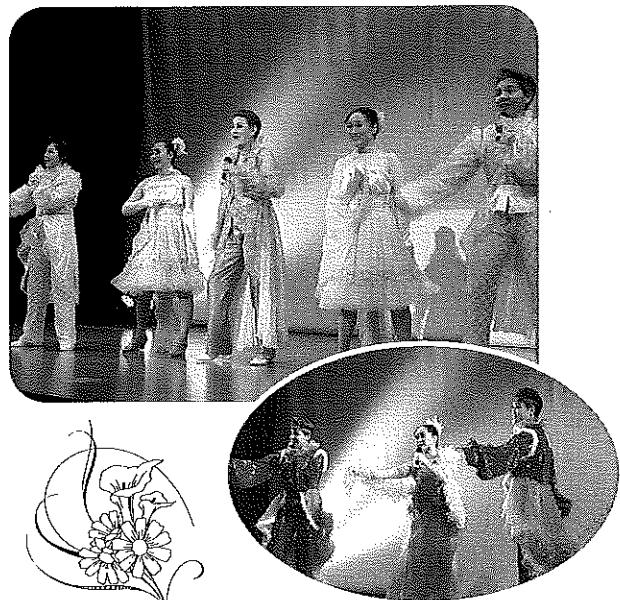
受付風景

## ☆☆全体レクリエーション☆☆

# 宝塚OGの皆さんによるショー&トーク

平成27年度定時総会を5月20日（水）フレンテホールに於いて開催いたしました。例年総会の午後は研修会が行われますが、今年度は宝塚OGの賀茂 千条さん、英 マキさん、紫鳳 あけのさん、姫野 真深さん、誠 佳さんによるショー&トークの華やかな舞台が繰り広げられました。

オープニングは『幸せを売る男』の歌にのり、お菓子を配りながら会場を廻り、客席も一体となり合唱して、おおいに盛り上りました。続いているダンスロマネスク！衣装の早変わりに歓声が上がりました。休む間もなく、宝塚人気の演目『エリザベート』のなかから数曲披露されました。トークでは宝塚歌劇団ミニ知識をクイズ形式で出され客席と楽しく交流し、フィナーレは『満天の星』で締めくくられました。



## 感想

- ❖ とても楽しい時間を過ごしました。日頃の苦労を忘れる時間でした。
- ❖ キラキラ豪華な衣装の早変わりで5人の出演者だけとは思えないほどの素晴らしい宝塚レビューを満喫できました。
- ❖ 何年か振りの観劇でとても楽しかったです。毎年研修会でしたが、今年のような催しも良かったと思います。
- ❖ ショーの早変わりや衣装もすごかったですが、歌の声量にはびっくりしました。トークもおもしろく、楽しめました。さすが宝塚ですね。



## 一羊会の将来構想 10ヶ年について

社会福祉法人 一羊会

理事長 三浦 犀



1977年 知的にしようがいがある子を持つ親たち（西宮市手をつなぐ親の会）の「親亡き後の施設づくり運動」の努力に応えるように多くの関係者、一般市民の協力により社会福祉法人「一羊会」が誕生し入所施設「一羊園」が誕生しました。翌年には小規模通所支援事業「すずかけ共同作業所」が親の会運営で開設され、私も初代杉本所長と一緒に働かせていただきました。

あれから38年の歳月が流れ、入所支援施設「一羊園」をはじめとして「すずかけ作業所」等4つの通所施設と地域生活支援センター「ジョイント」を整備しつつ、地域生活全般を支える事業展開に「西宮市手をつなぐ育成会」（旧西宮市手をつなぐ親の会）とこの間取り組んでまいりました。更に今年4月には「上甲子園すずかけ作業所」をはじめ児童通所支援事業所・グループホームを併設した複合施設、「上甲子園事業所」を開設致しました。

これらのことはしようがいがある人達を中心に取り組んできた運動の成果として大きく評価できるものと自負しております。が、まだまだ社会資源は足りないのが実情です。

親亡き後の施設づくりから始まり、進路対策、地域生活支援、成人期から児童期への取り組み拡大、更には高齢化対応へと課題は広がってきています。

2002年8月から始まった一羊会改革推進プロジェクトも2004年よりマスタープランとして正式にスタートし、以降は中期プランとしての更新をしながら現在に至ります。

設立当初20歳代だった青年も高齢になり10年先、今後の生活のあり方は？といよいよ切迫してまいりました。これまでも先々のことについて多くの議論を重ねながら目の前の課題に少しずつ取り組んではおりますが、長期のめざすものについてはまだ、明文化されてはおりませんでした。ここに至って改めて一羊会の現状・課題を整理しつつ、今後の10年に向けての将来構想を指標として策定することになり、第4次マスタープラン策定と併せて今後10年の将来像についても、目指すものとして広く周知し、一羊会全体で取り組んでいくべく目標として「将来構想10ヶ年」を策定いたしました。

その骨子としては

1. ようがいが重い人たちのグループホームを北部地域・南部地域で建設していく。  
比較的自立度の高い人たちのホーム（スタッフが通いで対応出来るホーム）は既存の賃貸物件を借りるなどで対応、一人暮らしに向けてはサテライト型の活用を視野に入れて取り組む。
2. 老朽化した「すずかけ作業所」のリニューアルを行う。  
通所の機能だけでなく今後さらに必要となる機能（短期入所機能等）についても検討し、多機能型のリニューアルをめざす。
3. 今後、学校卒業後の進路対応としては通所のブランチで対応するとともに、北部においても通所事業所の整備を行い一羊園における職住分離の実践や北部展開の活性化を図る。
4. 一羊園を中心として高齢化対応の施設整備を行うとともに、医療機関・介護施設とのサービス調整等連携をとれるようにシステム化を目指す。

5. その他、必要なサービスの創設や現行サービスの量的拡大に向けて行政との連携を深めて、西宮市全体がニーズを充足できる様、運動的視点で取り組んでいく。

これらの目標実現のためには、一羊会が単独で動いても到底実現できるものではないと思います。育成会との歩調を合わせた運動的な取り組みが求められていると思います。そして多くの市民の協力が・・・

時代が変わり、親の人たちの意識も変わってきたとは思いますが、いつもいつも変わらないのは親亡き後の子たちの生活への不安ではないでしょうか。

育成会運動はその不安を少しづつでも軽減すべく取り組んできた歴史があり、そして今があるのです。歴史を作り、次につなげさらに歴史を作っていくという営みが必要です。私の中では育成会は運動の母体です。運動的視点をしっかり持ちながらこれから課題に連携して立ち向かっていきましょう。



## 上甲子園事業所の紹介

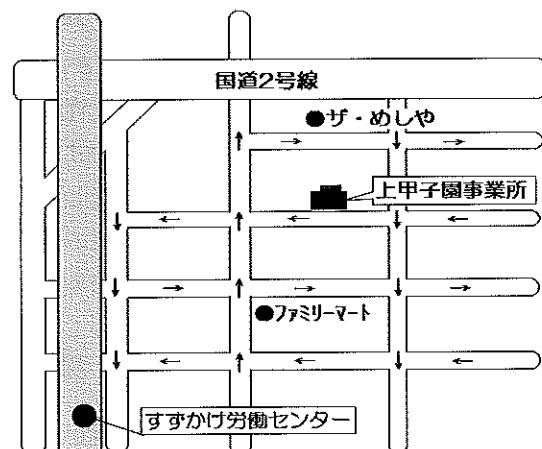
平成27年4月1日、上甲子園の地に新しく事業所が誕生しました。

通所の事業所「上甲子園すずかけ作業所」にグループホーム「上甲子園ホーム」と児童デイサービス「カノン上甲子園」を併設した複合施設です。

ただ今、カフェ「Aptime CAFÉ（アプティムカフェ）」のオープンに向け、準備を進めているところです。こだわりのコーヒーを用意して、皆さまのお越しをお待ちしています。



- Menu ○
- コーヒー・紅茶
- サイダー
- パウンドケーキ
- ホットサンド



〒663-8114 西宮市上甲子園5丁目3-18  
TEL 0798-34-1017 (上甲子園すずかけ作業所)  
0798-34-1011 (カノン上甲子園)  
FAX 0798-34-1018

## ☆☆研修 施設見学☆☆

## 『五色精光園 成人寮』

平成27年7月9日(木) 淡路島洲本市の西部に位置する「社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団五色精光園成人寮」に大型観光バス一台をチャーターし会員31名で見学に行きました。

五色精光園は、知的障害児施設、障害者支援施設、グループホーム、相談支援事業、障害者就業・生活支援センター等の多機能型事業所です。

今回見学した成人寮は、昭和53年に開設、3年前に建替えられた施設で現在入居者は80名（島外の入居者は8名）で平均年齢は50歳です。

大切にされた施設のコンセプトは、利用者本位で質の高い支援、良質で安全・安心な福祉サービスを提供し、また防災拠点型の地域交流スペースを整備し、災害時などにも安心して使っていただける“地域に貢献できる施設づくり”を目指すことです。

知的障がい者の高齢化という問題に積極的に取り組み、9名の看護師が交代で365日24時間、利用者の健康管理をしています。又歯科衛生士の資格を持った職員（2名）が、口腔ケアに力を入れ、疾患予防の成果を上げています。



五色精光園 成人寮正面玄関



地元のアーティストさんたちに絵画を提供してもらっています



据え付家具の移動により、1人部屋から2人部屋に変更可

## 広大な敷地に 5 色 の 淡路島のイメージカラーのユニット名

- |          |      |   |
|----------|------|---|
| <b>緑</b> | 大地の街 | 施設のサービス・管理部門等の共有区間                          |
| <b>赤</b> | 太陽の街 | 活発で明るい中軽度の女性ユニット                            |
| <b>青</b> | 星の街  | キラキラ輝く個性を生かす中軽度の男性ユニット                      |
| <b>青</b> | 海の街  | 行動障害の男性を対象にしたユニット<br>衝撃に強い床、壁材、窓ガラスは全室強化ガラス |
| <b>白</b> | 虹の街  | 重度、虚弱、高齢者を対象とした男女混合ユニット<br>トイレは全室車いす対応      |

男女混合のメリットは、男女区別なく緊急度の高い人から入居できる事です。



最新機器を備えた浴室

清潔感あふれる施設で、日中は居室にだれ一人いなくて、訓練棟、外作業に従事されていました。親も高齢化し、土日に帰省する人も、面会も少なくなってきたのが現状です。

見学後、ウェルネスパーク五色内レストラン「浜千鳥」で昼食。  
帰路は、淡路ハイウェイオアシスにて淡路特産物のお土産を買ったり、ソフトクリームを食べたりし、小旅行気分も楽しみ無事西宮へ戻りました。



昼食風景

## ☆☆余暇活動 絵画教室☆☆

## 芸術作品できたよ！！

今年度から始まった余暇活動の第1回は「絵画教室」でした。平成27年7月20日(月・祝日)総合福祉センターにおいて、第6回はばたくアート展でもお力添えをいただきました行永亜矢先生のご指導のもと、13名が保護者、支援者と共に「ボックスアート」制作に取り組みました。

「夜空を見上げて」をテーマに粘土、絵具、スパンコールやラメのマニキュアなど、いろんな材料を使って夜空に輝く月や星、花火などそれぞれ個性豊かな作品を作り上げました。

額に入れると一段と素敵になり、作品を手にみんな笑顔で記念写真を撮りました。



## ☆☆学齢期 体験ツアー☆☆

## ちくわ・かまぼこ作ってみよう！！

平成27年8月7日(金) 学齢期では長いなが~い夏休みの楽しい思い出づくりと親睦になればと思い、神戸市東灘区にある「カネテツデリカフーズてっちゃん工房」に行き工場見学と手作り体験をしました。親子4組の参加がありました。

手作り体験では、ちくわとかまぼこをすり身から作ったのですが、皆さん「難しい～！」などといながらも最後まで頑張り、お土産として持ち帰ることができました。

「かねてっちゃん」のテーマソングを聞いたり、試食をしたり大満足でした。

学生ボランティア（聖和短期大学生2名）のご協力により楽しい一日を過ごすことが出来ました。



てっちゃん工房前で



“むずかしい～”



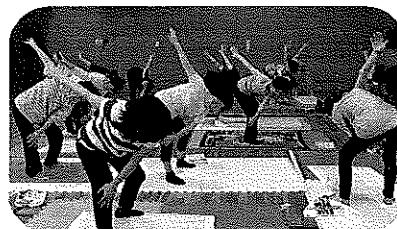
## ☆☆レクリエーション ヨーガ体験☆☆

## からだも心もほぐされました！！

平成27年9月18日（金）「日本ヨーガ療法学会」の中野 香津子氏を講師にお迎えし、総合福祉センター体育室において「ヨーガ」の体験をしました。18名の参加がありました。

ヨーガセラピーは、年齢、経験を問わず、体がかたい方、運動が苦手な方、初めての方でも安心、元気な方はさらにパワーアップ！！

やさしい「ヨーガ」の体験で日頃の運動不足を解消し、からだも心も軽くなったように感じたひと時でした。



## 監事交代

平成27年4月1日付で、当会監事が松本寛氏に代わり和田能宣氏が就任されました。

松本寛様お世話になりありがとうございました。和田能宣様よろしくお願ひいたします。

（監事2名のうち1名は社会福祉協議会に依頼しています）

## 平成27年度 ご寄付（敬称略・順不同）平成27年10月末現在

佐川千恵子 匿名 社会福祉法人一羊会 西宮福祉ボランティアグループ雑草 高齢者を考える会  
税理士法人丸岡＆パートナーズ 外部理事・監事

## 平成27年度 賛助会員（敬称略・順不同）平成27年10月末現在

橋実千代 佐々木康晴 大前はるよ 北川泰寿 大前繁雄 吉川治子 篠原正寛 藤井里美  
黒瀬雅子 大西勝代 久米利津子 上林達児 岡崎州祐 三浦昇 花澤陽子 佐藤寿美 石川玲子  
吉見京樹 福原隆裕 栗原裕実 谷口美奈 橫田大輝 安田文彦 大川裕紀 佐竹基宏 田中保奈美  
四方勝 平山圭恵子 吉田高 谷田松子 松枝千尋 堀江史子 中川雅之 宮川達 赤松あゆみ  
吉田英子 山本輝 川上隆弘 秋山健一 伸野康子 玉村悠南 仲塚千夏 中島忠男 岡田朱加  
中村喜弘 佐藤健一 三木さおり 久保廣高 山口有香 斯波幸人 佐山修 増田亜仁 西井明子  
平見有美 松波道子 西宮福祉ボランティアグループ雑草 税理士法人丸岡＆パートナーズ  
村内歯科医院 社会福祉法人三田谷治療教育院

## ご贊助のお願い

当会は、知的障がい児・者がその人らしく生きていくための一助になることを願って、様々な活動をしています。ぜひ、賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ・年会費：1口 2,000円 ・口座番号：00940-9-19101（ゆうちょ）
- ・口座名義：一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会

## 編集後記

第72号が出来上がりました。制作過程で、育成会活動の多彩さを改めて知ることが出来ました。お忙しい中ご寄稿、ご協力いただきました方々に心より感謝申し上げます。

